

かめのり多文化共生塾 2024

-多文化共生地域ネットワーク支援事業-

開催要項

1. 趣旨・目的

2023 年末の在留外国人数は 340 万人を越え、過去最多を更新しました。国籍や在留資格、年代・世代は年々多様化が進展しており、日本で暮らす外国人の直面する課題は多岐に及んでいます。政府は 2018 年から「外国人との共生社会実現のための総合的対応策」をとりまとめ、各省庁で外国人との共生社会に必要な施策に予算を充てるようになりました。また自治体や助成財団も委託や補助、助成を通して外国人との共生のための取り組みの拡充を促しています。

しかし、そうした財源を活かして地域のニーズに応える取り組みは十分に展開されているとはいえません。これまで日本における外国人は、「移民」として正面から受入れるものではなく、日系人や技能実習生といった「例外的」なものでした。政府が来日後の環境整備に取り組んだのは 2019 年度からで、地域で暮らす外国人への支援はこれまで長く、ボランティアや家族、近所の人ができる範囲で細々と行うものでした。ボランティアが資金を持ち出して日本語を教えたり、子どもが親の通訳のための学校を休んで病院へ行ったりすることがいまだ美談として語られている状況です。

かめのり財団ではこのような状況から、地域で多文化共生を進める担い手の育成とその取り組みを支えるネットワークや財源の提供が急務と考え、2022 年度より「多文化共生地域ネットワーク支援事業」を立ち上げました。また参加者が企画・立案した事業を対象に、これまで 22 の団体・個人の取り組みに助成を実施しました。

外国人受入れの流れはさらに加速しており、また家族の帯同や在留の長期化に伴う課題の多様化、外国人の居住する地域の拡大も進んでいます。本年度の「かめのり多文化共生塾」はそうした背景を鑑み、外国にルーツのある人が担い手として参画する取り組みに焦点をあて、課題分析や企画立案に必要なスキルを集中的に学ぶことで地域の担い手の質と量の拡充をめざすとともに、他地域の担い手との相互研鑽とネットワーク形成を目的とした研修を、関東と関西の 2 カ所で、3 日間にわたって実施します。本事業によって地域社会が一段階進化し、外国人も日本人もともに地域の担い手として活躍する真の共生社会形成の一助となることを願っています。

2. 概要

持続可能な地域づくりをめざす担い手育成のための「かめのり多文化共生塾 2024」

地域の担い手に必要な多文化共生分野の知識と、組織や事業マネジメントに必要なスキルを学ぶ研修です。参加者間でテーマごとにグループを編成し、地域課題を解決するプランを企画・発表します。

3. 講師および研修の特徴

- ・ 多文化共生分野で長年実践に取り組んで来た田村太郎（ダイバーシティ研究所・代表理事）が統括コーディネーターを務めます！
- ・ 多文化共生分野で活躍する最先端の地域の取り組み事例を紹介します！

- ・ 日本語教育・生活支援・地域づくりで3つの分野で専門家・実践家が解説します！

4.開催場所・日程

関西（神戸）と関東（東京）の2地区で3日間の日程で開催します

○関西会場：2024年9月14日(土)～16日(祝・月)

こうべまちづくり会館 ([会場へのアクセスはこちら](#))

○関東会場：2024年10月12日(土)～14日(祝・月)

アルカディア市ヶ谷 ([会場へのアクセスはこちら](#))

5.プログラム

内容		神戸	東京
1 日 目	基本解説 13:30～14:50	田村太郎（ダイバーシティ研究所）	
	事例紹介 15:00～17:00	坂西卓郎（PHD協会） 本田文代（場とつながりの研究センター）	市川斉（シャンティ国際ボランティア会） 浅倉みさき（青少年自立援助センター）
2 日 目	分野別解説 ①日本語教育 9:00～10:30	神吉宇一（武蔵野大学）	増田麻美子（文科省日本語教育課）
	分野別解説 10:40～12:10 ②生活支援	フフデルゲル （神戸定住外国人生活支援センター）	菊池哲佳（桜美林大学）
	分野別解説 13:30～15:00 ③地域づくり	<small>バックチャロルン</small> 朴 徹雄（ゲストハウス萬家）	渡邊崇志（ゲストハウス品川宿）
	演習解説と ふりかえり 15:10～17:00	田村太郎（ダイバーシティ研究所）	
3 日 目	グループ発表 と相互評価 9:00～12:00	田村太郎	
	ふりかえり 13:00～14:30	田村太郎	

*研修内容および時間は、諸事情により変更になる可能性があります。

6.募集人数・条件

- ・ **定員：各30人**（団体からの参加は1団体2名まで可とする）
 - ※ 応募者が多数の場合は抽選を行います（先着順ではありません）
- ・ **対象：多文化共生分野で2025年度に具体的に取り組みを実施する予定の団体または個人**
 - ※ 外国にルーツを持つ人や外国にルーツを持つ人が主体的に参加する団体からの参加を優先
 - ※ 団体は、法人格の有無や種類は問いません
- ・ **参加条件**

- ① **事前課題の提出**（取り組みを実施する地域の調査、実施予定の事業の概要など）
- ② **オンライン連続セミナーの受講**（オンデマンドで事前視聴が可能です）
- ③ **全日程の会場での参加**（一部参加やオンライン参加は認めません）

・ **参加費：無料**

・ **参加者にかかる経費：下記の費用は自己負担となります**

- ① 会場までの交通費
- ② 期間中に宿泊する場合の宿泊費（近隣の宿泊施設の情報は提供）
- ③ 期間中の食費

・ **補助制度について**

交通費及び宿泊費の一部に充当する費用として、参加者 1 人につき 1 万円を補助します

6.お申込み

- ・ 両会場共に、下記のリンクより必要事項を入力の上お申込みください。参加の可否は後日、事務局よりご連絡します

<https://diversityjapan.jp/kamenorijuku2024-form/>

7.Q&A

Q1：多文化共生塾の3日間、全てに参加しないといけませんか？

A1：はい、全ての日程への参加が必須となります。

Q2：Zoomなどオンラインで参加できますか？

A2：全日程、対面での参加となります。

Q3：団体で参加したいです。

A3：構いませんが、1団体につき2名までの参加といたします。

Q4：宿泊の手配はしてくれますか？

A4：ご自身での手配をお願いします。事務局より近隣の宿泊施設情報は提供します。

Q5：関西で活動していますが、日程上、東京会場に参加したいです。可能ですか？

A5：原則として地元での参加をお願いしますが、柔軟に対応しますのでご相談ください。

8.お問い合わせ先

kamenori-seminar@diversityjapan.jp

（一般財団法人 ダイバーシティ研究所：事業実施受託団体）

以上